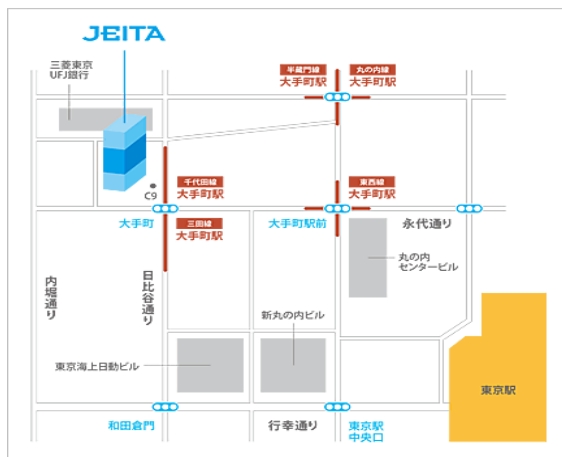


電子材料・デバイス先端技術動向調査報告会

—平成23年度「電子材料・デバイス技術専門委員会」活動成果報告—

一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA)では、「電子材料・デバイス技術専門委員会」を設置し、IT・エレクトロニクス産業の今後の発展にとって重要な電子材料・デバイス技術の先端技術分野について各種調査を実施しておりますが、平成22年度から2年間の調査で得られた各成果を広く公表するため先端技術調査報告会を実施することとしました。今回の報告会では、小川紘一氏(東京大学大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター)にご講演をお願いすることとしております。この機会に是非とも幅広い分野の方々にご参加を賜りたく、ご案内申し上げます。



日 時：平成24年7月24日(火) 13:30~16:50
 場 所：一般社団法人 電子情報技術産業協会(JEITA) 401-403会議室
 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル4階
 TEL: 03-5218-1059
<http://www.jeita.or.jp/japanese/about/location/>
 主 催：一般社団法人 電子情報技術産業協会
 企 画：電子材料・デバイス技術専門委員会
 申込期限：平成24年7月10日(火)
 80名 (定員になり次第締め切らせて頂きます。)
 参加費：2,000円(会 員)、5,000円(非会員)
 ※24年度電子材料・デバイス技術専門委員会参加企業は無料

■プログラム 司会 森田 清之 電子材料・デバイス技術専門委員会監事〔パナソニック(株)〕

13:30~13:40	【開催の挨拶】	電子材料・デバイス技術専門委員会委員長〔三菱電機(株)〕
13:40~14:40	【基調講演】 「モノづくりをグローバル競争力に結び付ける 知財マネージメント時代の到来」 小川 紘一 氏 東京大学大学院経済学研究科 ものづくり経営研究センター	日本型モノづくりや特許が、グローバル市場の競争力に寄与しなくなった。圧倒的な技術力を持ち重要特許をたくさん保有していても日本企業が勝てない。これまで疑う必要の無かった常識が非常識になったという意味で、21世紀の製造業が経営環境の歴史的転換期に立っているのである。現在の我々に求められているのは、技術開発の追求以前に、まず JEITA とそのメンバー企業が産業構造の転換メカニズムを理解・共有し、ここから新たな勝ちパターンを再構築することではないか。 本講演では、まず第一に、産業構造の転換がデジタル化やオープン化政策を起点に生まれ、これがグローバル市場の競争ルールを一変させたという事実を、多くの事例を交えて紹介する。そして第二に、なぜ日本企業がアジア諸国企業に勝てないのかを解き明かし、解決すべき課題を正しく設定し、通用しなくなった常識を通用させるための方向性を、新たに提案したい。
14:40~15:20	【調査報告①】 「太陽電池技術 —太陽電池用原料・部材・製造装置技術—」 増田 淳 氏 産業技術総合研究所/太陽電池技術分科会 委員長	
休 憩		
15:30~16:10	【調査報告②】 「省電力エレクトロニクス技術」 益 一哉 氏 東京工業大学/省電力エレクトロニクス技術分科会 委員長	
16:10~16:50	【調査報告③】 「ワイドバンドギャップ半導体デバイス技術」 奥村 元 氏 産業技術総合研究所/ワイドバンドギャップ半導体デバイス技術分科会 委員長	

※ 委員会名及び委員会での役職は、基本的に平成23年度のものとなります。

■ 申込要領 参加申込書に必要事項をご記入の上、お申込み下さい。登録完了時には、ご登録 E-mail アドレスに確認メールをお送り致します。また、ご登録のご住所宛てに「受講票」と「請求書」をお送り致します。下記の URL もご参照下さい。

<http://home.jeita.or.jp/tech/>

■ 申 込 先 〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3
 一般社団法人 電子情報技術産業協会 知的基盤部 技術戦略グループ(布川、高橋、澤田)
 TEL 03-5218-1059 FAX 03-5218-1078 tsc4@jeita.or.jp

プログラムの内容につきましては、変更となる場合もありますので予めご承知おきください。